

# 業

## 躍動人

第35号 2009. 8月

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 増井幸一 編集責任者：河津慎二 35期広報委員会 印刷所：東京印刷(株)

# 飛 雄

## 会長ごあいさつ

夢をもたないと実現しない。  
ものごととは動く事からはじまる。  
動くから出会いがある。  
出会いがあるから新しい価値観が生まれる。  
今の経済不況をしっかりと受け止めよう。  
そして、一〇〇年に一度しかないチャンスだと考える。  
社会貢献を考えよう、誰かが喜ぶから「業」となる。  
私たちが、務めとしてなす事が「業」である。  
活発な活動は必ずその結果をもたらす。  
今が良好であるのは、  
それを生む活動を過去に行っている証拠だから。  
未来の良好のために生き生きと活動していく「躍動人」と  
なろう。  
私たちが創る未来のために・・・夢の実現に向けて  
苦勞はするが成し遂げれば「業」となる。  
やらないけん！



鳥取県西部中小企業青年中央会  
第35期会長 増井 幸一

スローガン



waza

テーマ



鳥取県西部中小企業青年中央会 第35期会長を務めさせていただきます、増井幸一です。どうぞ宜しくお願い致します。冒頭に記しました通り、スローガンとテーマを掲げました。一言で言えば、生き生きと活動する事で自身の事業に磨きを掛けるということです。

オイルショックでの経済不況が叫ばれる中、当会は誕生しました。中小企業を担う青年が集い、熱意のもと実践活動に学んでこられたのだと思います。そして今、皆さんも御存知の通り、100年に1度の不況とい

われますが、まさにその精神に立ち返るときがきています。会は、会員の皆様があるからこそ会であり、それぞれ個性があるからこそ刺激になり、新しい価値観を宿します。伺い考えるだけでなく、心と心をぶつけ合い行動に移さなければ、進歩はありません。一歩でも踏み出せば必ず新しい何かが見つかり、次は何をすれば良いのか気付くはず。それが出来るのが青年中央会の良いところだと思います。

また、今年は35周年事業を開催いたします。先輩方が築かれた歴史と伝統に学び、新たな一歩へと駆け出していく所存です。OB会の皆様ならびに当会関係者の皆様には、これまで以上のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



熱い想いを語る増井会長

## 副会長・委員長ごあいさつ



### 地域ビジョン委員会 政治行政委員会担当

#### 副会長 松原 毅

本年度、副会長をすることになりました。

本年度のテーマは「躍動人」と言うことで、自分なりのテーマは「RUN」として担当委員会の委員長と共に委員会を盛り上げ、共に「RUN」していきたいと思っております。一年間よろしくお願ひします。



### ビジネス委員会 自然文化発掘委員会担当

#### 副会長 手島武司

35期副会長をご承認頂きました。牛乳屋の手島です。

私にとっての委員長に問うキーワードは、4つ「心の底から本当にやりたいのか?」「やって楽しいか?」「委員会のメンバーのためになるか?」「今後の中央会の活動のためになるか?」です。

担当委員長には私が止めなければならないくらい、躍動人として突っ走っていただきたいと思っております。

1年間よろしくお願ひいたします。

### 地域ビジョン委員会 委員長 山本竜男



在籍7年、本年度卒会という事で白羽の矢が立ったのか、増井会長よりお電話を頂いた時には、かなり驚いた事を憶えています。悩んだ挙句、「このまま卒会してもいいのだろうか?」との思いが強くなり、様々な会員の意見を聞き、「中央会生活の集大成としてやってやろう!」と決断いたしました。

昨今の不況下の中、企業の倒産は増加の一方、消費の低迷、政界は混迷を続ける中で、我々西部青年中央会は、こんな世の中だからこそ積極的に活動

していかなければならないと考えます。そのなかで地域ビジョン委員会としては、その名の通り「地域活性化」という言葉を軸に、地域の発展、子供の未来を見据えた活動を行い、その上で西部青年中央会という会をもっと一般の方に周知できれば、と思っています。

増井会長のテーマ「躍動人」という事で、スピーディーかつチャレンジ精神溢れる委員会を目指し、1年間頑張っていきます。

### 政治行政委員会 委員長 永田健司



35年の節目の年に歴史と伝統のある委員会の委員長ということでとても緊張を感じています。重責を全うできるように努力してまいります。と、あまり考えこんでシケッともいけません。

委員会の皆と色々な角度からこの西部の経済政策について明るく、楽しく、元気よく、学んでいきたいと思っております。『鳥取県西部地域の経済環境は悪化が進んでいる状況にある。しばらく底ばいが

見込まれ、雇用・所得環境の悪化から早急な回復は難しく、全体として悪化が進行すると予想されている。』と言われております。中小企業の将来を担う団体として政治行政のシステムを学び、特に経済政策、対策について検証、実践、提言を行う活動をして今期のスローガンである『業』を磨いていきたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願ひします。

### ビジネス委員会 委員長 長田賢一



増井会長の下一年間ガンガン突き進んで行きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

中央会とは、会社が健康で尚且つ存続しつづけて始めて成り立つものと考え、35期ビジネス委員会では、会のスローガンである『業』を踏まえ『会員各企業の発展を図る』に重点を置き、会員皆さんが中央会に参加しやすいような、そして各企

業の商いに繋がって行くような活動を、今までの定説に捕われる事無くしかし歴史と伝統を重んじ、また何事も『楽しくなければ成長は無し』と考え、遣りたい事を楽しく生き活きと委員会活動をして行く所存です。

会長を始め会員の皆様には、一年間色々なお願ひやご迷惑をおかけするとは思いますが何卒宜しくお願ひ申し上げます。

### 自然文化発掘委員会 委員長 須山裕文



いよいよ委員会活動がスタートしました。委員長のお話を頂いた時から頭の中ではあれこれと色々な事を考えてきました。(自然)(文化)という壮大なテーマを頂いた事で、委員会の可能性という面では広がりを感じましたが、活動として絞り込むのに非常に苦労しました。

今回、当委員会では(自然)と(文化)の宝庫である「大山」にスポットを当て、我々の暮らすこ

の地域の歴史的・文化的な事柄を事実に基づいて考察し、先人の偉業から我々の進むべき「指針」を探って参りたいと思っております。当委員会の活動を通じて、会員の皆さんにこの地域の可能性を再認識してもらい、「誇れる地元」を感じてもらえたらと心から願っております。一年間という長いようで短い期間ですが、楽しく有意義な活動ができればと思っておりますのでよろしくお願ひします。

# 副会長・専務理事・委員長・会計担当ごあいさつ



## 広報委員会・青経連担当 副会長 河津慎二

第35期副会長を拝命しました河津です。今年度40歳になる若輩者ではありますが、スローガン「業」テーマ「躍動人」を実行出来るように、精一杯会の運営に邁進致します。

担当は、広報委員会と青経連です。今年度の広報委員会はベテラン会員や広報経験者が多く、小川委員長の下、対外発信や会員企業アピールなど今までとは違う広報委員会を目指しております。成果が出るようにしっかりサポートしていきたいと思っております。

青経連は各団体が会員減少する中、個々の活動だけではなく、各団体が一丸となって地域のために何が出来るのかを議論し推進していきたいと思っております。

微力ながら精一杯頑張ります。一年間宜しくお願い致します。



## 総務委員会担当 専務理事 渡辺一徳

西部青年中央会に専務理事という役職が設けられて今年で二年目、ようやく会員内外に周知されて来ましたが、まだまだ完全には確立されていないのが実情ではないでしょうか。

私自身も専務理事をスポークスマンとしての内閣官房長官のようなイメージと勝手に抱いておりましたが、実際は、外部機関との連絡交渉役、中央会事務局とのやり取り、収支予算の作成から進捗の把握、総務委員会の担当、そして会長の補佐と非常に多岐に渡る事が今更ですがわかって来ました。今期が始まるまでにやらなければならない事も多くあり、ようやく35期がスタートしたというのが実感です。

専務理事が“中央会”委員会の副委員長に留まらないよう、今期も色々取り組んで、西部青年中央会の専務理事職を確立させて行きたいと考えております。一年間よろしくお願い致します。

## 広報委員会 委員長 小川敦弘



中央会活動を理解していただくための情報発信を、ホームページや広報誌を通じて行うのが広報委員会の役割です。

35期広報委員会は、各種行事・各委員会の活動・情報をタイムリーにしっかり記録・取材し、鮮度の高い情報を発信します。

中央会活動の意義・目的を、地域の方々に理解を深めて頂けるよう、わかりやすく積極的にアピールしたいと考えます。

「会員みんなで手を携えて中央会を大きく育てていく」

広報誌ハンサム・中央会WEBサイトが、少しでも中央会のために、貢献出来たらと考えております。

楽しく、一人でも多くの方に中央会の魅力を感じてもらい、組織の存在感が高まる広報活動が出来るよう、35期広報委員会は活発に動きます。

一年間応援、ご協力よろしく申し上げます。

## 総務委員会 委員長 岩田 剛



第35期総務委員長を拝命いたしました、岩田剛と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。西部青年中央会には平成18年5月に入会させていただきました。今回、今までで最も重い役職となりました。伝統ある総務委員会の委員長としてその責任の重さをひしひしと感じている今日この頃です。今年度の総務委員会の活動テーマは「旋風」といたしました。すべての中央会会員へ熱き鼓動を伝

えていくことを最大の目的として1年間活動してまいります。今後、新年例会、35周年記念事業、新入会員オリエンテーション、会員拡大活動の推進と内容は盛りだくさんであります。限られた時間を有効に使い、総務委員会が一体となり、躍動していくよう努力いたします。1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 会計担当 理事 森脇哲雄



第35期会計担当理事を拝命致しました森脇です。

本年度は例年とはひと味違った例会の開催・35周年の記念事業等々増井会長が掲げられたテーマの如く『躍動』の年となりそうです。

その1年を会計の面からサポートすべく微力ながら尽くしたいと思いますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

# 平成21年度通常総会

日時:平成21年7月15日(水)

場所:ホテルサンルート米子

平成21年7月15日(水) ホテルサンルート米子に於いて、21年度通常総会が開催された。冒頭水会長より「掲げたスローガン 変革、テーマ Neo Standardを各委員長がいろいろな形で表現してくれたと思います。そして厳しい時代の中、“危機こそチャンスにするために”新しいものを打ち出すことが大切」と1年間の締めくくりのあいさつがあった。



続いて、新入会員3名にバッジ・手帳の授与が行われ、高光英彦会員「中央会に入って、力をつけていくために挑戦して勝ち取っていききたい」、本田繁会員「中央会の名に恥じないようにがんばっていきます」、織戸健司会員「常に挑戦、常にチャレンジして人として大きくなるようにがんばります」と入会の抱負を述べた。

議事に移り、土岐副会長の進行のもと、2つの議案が審議され、2議案とも会員の「異議なし」で承認された。

続いて、中田直前会長に中央会への貢献に感謝の意をこめて「特別功労賞」が送られ、皆勤賞(18名)、精勤賞(28名)の表彰が行われた。

その後、恒例の委員会表彰があり、優秀委員会に地域の人々を巻き込む活動を行ったNeoラ・ヴィ委員会が選ばれ、

川端委員長が感激で声をつまらせながら、「最後まであきらめずにやり遂げられた。ついてきてくれた委員会メンバーに感謝します」とあいさつ。

最優秀委員会に多くの会員をまとめ上げた総務委員会が選ばれ、ビックリした表情で松田委員長が「34期メンバーは一年間を通して出席率が90%以上と休まずにがんばってくれた」とあいさつがあり、会場から盛大な拍手が送られていた。34期の活動がまとめられ、通常総会は閉会した。

(記事:景山)



## 卒会式

しばしの沈黙が流れる。いつも思うが独特の雰囲気である。そう、卒会式だ。『はいっ。』

めずらしく緊張し真面目な顔をした6名の卒会生が壇上に上がっていく。長い中央会活動を思い起こしているような表情が印象的である。

水会長より『卒会される6名の方は、今まで先輩方の積み上げてきた歴史や伝統を守って来られた方々である。卒会

いや 卒業おめでとうございます。』というあいさつがあった。式の中では卒会を記念して、ご家族からビデオレターのプレゼントがあった。うれしそうに、またはずかしそうな顔。そんな表情をもっていたのかと驚かされた一面であった。

長い中央会活動を思いっきり過ごされた6名の男達。自分もあのように卒会を迎えられるような活動しなきゃ!と思わされる時間であった。おめでとうございます。

(記事:後藤(太))



## 懇親会

総会・卒会式に続き、多数の来賓・OBにも出席いただき、懇親会が開催された。

岩田総務委員長の司会のもと、酸友連(山陰酸素グループ)の勇壮ながいな太鼓で懇親会がスタートした。第35期増井会長が今年度スローガン「業~waza~」について「100年に一度の不況をチャンスと考え、自分の仕事を業にする為に業を磨く。企業の為、地域の子供たちの為に躍動人として35周年事業として何か地域に貢献したい。」と力強く所信を発表された。

来賓の挨拶のあと商工組合中央金庫久保支店長の乾杯で歓談が始まった。各テーブルでは新委員会での抱負を語り合い、またOBとの旧交を温める姿がいたる所で見られた。

歓談のあと卒会者紹介及び挨拶、新役員紹介、新入会員紹介、トライアスロンの壮行会が行われた。閉会時間も迫り三井生命佐藤支社長の中締めの挨拶をいただき、恒例の胴上げを1人ずつ行い卒会者を送り出した。

こうして懇親会は大盛況のうちに幕を閉じ、中央会の21年度は元気一杯でスタートした。

(記事:高塚)



# 鳥取県中小企業青年中央会 第35回通常総会

日時：平成21年7月23日（木） 場所：倉吉シティホテル



平成21年7月23日（木）倉吉シティホテルに於いて、鳥取県中小企業青年中央会 第35回通常総会が開催された。

西部地区からは増井会長、水直前会長を始め、副会長・各委員長・会員で総勢49名の参加だった。

総会は20年度小椋県会長の挨拶で始まり、小椋会長は「田中直前会長に頂いた、今を変えれば未来が変わる。という言葉に心を打たれたのを覚えている。各県副会長に助けられてここまでくることが出来た。一年間ありがとうございました」と締めくくられた。

その後、議案審議で、山根宏典新

県会長・西部6名を含む新役員、平成19年度収支決算書並びに平成21年度の収支予算書が満場一致で承認された。

平成21年度の事業計画はその基本方針を、テーマ「誠の理（まことのことわり）」・スローガン「次世代への創造」とし、具体的には①教育事業 ②35周年・研修委員会を含む3委員会での委員会活動 ③情報提供事業 ④交流事業 ⑤親睦事業 ⑥視察研修事業 ⑦教育関連事業 ⑧懇親会開催事業 ⑨要望・提言事業 9つの事業を柱として活動を展開していくことになった。その後、新役員の紹介が行われた。

通常総会閉会后、同会場にて藤井副知事を始め、多数の来賓をお迎えし、懇親会が催された。最初に県会長の鍵の引き渡し式があり、小椋丸より山根丸への引き継ぎが無事行われた。

山根県会長よりテー

マの説明があり、「誠の理とは、経済が疲弊している中、我々が出来ることは魂を磨き、東中西の垣根を外し、新しいものを造っていく」と解説され、また衆議院解散総選挙に触れ、「どの政党が政権を取っても受け止め、対応できる会にしていきたいと思っている」と、初心表明をされた。

その後、懇親会のアトラクションは、県会長・各県副会長対抗のクイズゲーム。不正解者は罰ゲームとして、ハバネロドリンク一気飲みなど、異常な盛り上がりであった。交流も深まり、地域ごとのカラーが出た県総会であった。

（記事：桑本）



## 県会長ごあいさつ



鳥取県中小企業青年中央会  
会長 山根 宏典

この度、鳥取県中小企業青年中央会第35期会長を務めさせていただきます山根宏典でございます。県会長という大役が私に務まるかどうか不安ですが、精一杯、そして力の限り頑張りますので一年間という短い間ですがどうぞ宜しくお願い致します。

さて、今年度のテーマを「誠の理（まことのことわり）」そしてスローガンを「次世代への創造」とさせていただきます。テーマの「誠の理」とは、誠意をもって次代への道を切り開くと言う意味でこのテーマにしました。また、理（ことわり）とは中国の言葉で「自らアラタマを磨き模様を出す」と言う意味だそうです。

我々中央会の綱領に自己の研鑽という言葉があるように35期県青年中央会会員全員が自らの魂を更に磨きを

かけ、次代に備えて準備と創造をして頂きたいです。そして、先の見えないこの状況に、磨き上がったその魂を一つにまとめて光り輝く灯りになる事をこの一年の目標とし、出来る限りの事を体得し、各地区・そして県全体のコミュニケーションがよりいっそう盛り上がる様努力して行きたいと思っております。

今年度は35周年という節目の年でもあります。先輩方が作り上げてこられた歴史をもう一度振り返ると共に新しい青年中央会の歴史を作り上げていく年でもあります。

今年一年、会員の皆様ならびにOB会員の皆様のご指導、ご協力を頂きまして、微力ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。



## 第29回 全日本トライアスロン 皆生大会



### トライアスロン参加選手感想



宮崎大介選手

今年は僕自身、記念すべき10回目の皆生大会です。今回は大会1か月前に第三子に恵まれたこともあり、練習不足は明らかでした(夜泣きがひどい)。が・・・

結果は何と22位!! 昨年よりもさらに順位アップしてる!?

もう上は望めないと思っていたので、この結果は驚きです。ただ、感謝の気持ちと絶対あきらめない、と

いう気持ちは今までで一番強かったのも確かです。

今回もお陰様で最高に楽しむことができました。大会を支えてくださったすべての方に、心から感謝します。



横山友樹選手

2回目の出場となる今年は最後のランで歩かないこと。スタートから12時間後の午後7時までにゴールすること。この二つを目標にレースへ臨んだ。途中、ランでは苦しくて何度も立ち止まりそうになったが、中央会メンバーからの熱い応援に支えられ何とか走り続けることが出来ました。

そして午後6時、ゴールまで残り4キロ。最後のAS(ライトスタッフ)

に着いたところでスタッフに止められ、大会の中止を告げられた。自分は僅かな差でゴールへ向かうことが許されなかった。雨で中止なのだから仕方ないと言えば仕方ないが・・・残念。

全く予想しなかった形でレースは終わってしまいましたが、当日は早朝より大勢の中央会の皆様方よりご声援を頂き本当に有難うございました。・・・また来年、頑張ります。(たぶん)

### 魂の応援! トライアスロン壮行会

平成21年度通常総会懇親会に於いて、トライアスロン壮行会が行われた。

県のソフトボール大会での名誉の負傷癒えぬまま、松葉杖を突き登場した佐々木団長。その勇猛果敢な姿に会場は息を呑む。

今年皆生に挑戦する選手は3名。例年同様山本博義OB・宮崎大介選手、に加え、昨年入会の横山友樹会員がロッキーのテーマと共に入場し、声高らかにトライアスロンへの意気込みを語った。

100番以内を目指すという宮崎会員、昨年リタイヤした屈辱を晴らすという山本OB、1時間早くゴールしたいという横山会員。引き締まった体つきと精悍な表情に来賓か

らも応援の声が飛んだ。

AS部配属以外は選手と触れ合う機会が少ないが、中央会が輩出した? 選手を一步でも前へ押し出すよう応援したいと思う。

(第29回全日本トライアスロン皆生大会は、17時38分の大雨洪水警報の発令と共に中止となったが、宮崎選手はなんと総合22位の快挙でゴール! 残念ながら山本選手と横山選手は完走が叶いませんでした)



(記事:桑本)



Kaike Triathlon

## 新入会員 トライアスロンに参加して

volunteer

### 松本冬竹

激しい雨の降る過酷な状況の中にもかかわらず、ボランティアの声援に笑顔で応える選手の方々に、びしょ濡れになりながら一致団結して声援を送りました。

選手をサポートするボランティアの方々と一緒になってトライアスロンに参加させていただいて感じる雰囲気、一体感は、普段では味わえない独特のものでありました。

今年は悪天候のため、途中中止という残念な事態となってしまいましたが、私にとって大変貴重な体験でありました。

### 浜澤卓司

中央会に入会して、人生初めての参加となった皆生トライアスロンでした。

惜しむべきは、大会歴史上初ともなった豪雨と落雷警報発令のためのまさかの大会中止。

とはいえ、決断が下される最後の最後まで、全身全霊をもって応援に携われるという滅多にできない活動に参加できたのはとても貴重な体験だったと思います。

主役はもちろん選手の皆さんだけでなく、それを支えるスタッフとボランティアも選手と同じく、ゴールを目指して走っているのだと気づき、一步一步を踏み締め頑張る選手の皆さんの姿に、応援する私たちもパワーをもらえたような気がしました。

### 西村義史

初めて大会前のポスター貼りから参加して、こんなにも多くの人たちに支えられて皆生トライアスロンは開催されているのだと改めて認識いたしました。

私は「感動」という言葉の安売りはあまり好きではないのですが、私たちボランティアに向かって極限の精神状態であろう選手が笑顔で「ありがとう！」と言って目の前を走り抜ける姿を見て感動せずにはいられませんでした。

大雨の中、カップ代わりにかぶったゴミ袋のかいもなく、携帯もパンツもビしょ濡れになりましたが、大変良い一日でした。皆様お疲れ様でした。

### 廣山松憲

平成14年から7年間、閉会式のボランティアを経験してきましたが、今回初めて競技のボランティアに参加させて頂きました。

今まで私の知っている選手達の顔といえば、「笑顔の有る穏やかな顔」ばかりでしたが、今年はスタート前に「少し緊張した顔」競技中での「必死にゴールを目指す顔」そして「競技中止を余儀なくされた悔しい顔」など様々な選手の皆さんの顔を見ることが出来、感動致しました。

そして、中央会の一員として参加させて頂いたことを誇りに思い感謝しております。

来年の30周年記念大会でも大きな感動と勇気を貰える様、全力で頑張っていきたいと思います。



# 第29回トライアスロン皆生大会を終えて



実行委員長 中田耕治

会員の皆さん、去る7月19日に開催されたトライアスロンボランティア参加、事前準備、お疲れさまでした。今年も「オール中央会」の合言葉のもと実施出来た事に感謝します。当日、豪雨のため途中中止の結末は出場選手の皆さんにとって、我々にとっても不本意なものでしたが、我々青年中央会らしく対応できたのではないかと感じています。選手の皆さんへの元気いっばいの応援、不慮の事態での選手の皆さんを思いやる対応には、即座に対応出来る行動力など会員の底力を感じることができました。少ない人数振り分けの中、部をまとめて頂いた茅野マラソン部長、土岐ボランティア部長、タニシASを運営した後藤AS部長、お疲れさまでした。そして多くの会員に感謝すると共に、ご協力頂いたOBの皆さんに御礼申し上げます。有難うございました。

ボランティア部長  
土岐哲己

今大会、ボランティア部長として協会に派遣され、当会を代表して参加することのプレッシャーを感じつつ、円滑な大会運営と、本分である本部管轄4,000人超のボランティアが安全に活動できることに注力しました。

大会は、気象警報による競技中途での大会中止という残念な結果になりましたが、準備段階からボランティア部員として懸命に活動して下さった皆さん、また、悪天候の中、競技運営と鉄人を支えて下さった皆さんに感謝の気持ちで一杯です。ほんとうにありがとうございました。

マラソン部長  
茅野康洋

今年の大会は例年になく豪雨の中、大雨洪水警報を受け大会初の競技中止という残念な結果で終わりました。

マラソン部としては土砂降りの中の撤収で危険が伴う中、部一丸となってスムーズな撤収が出来たことがとても良かったですが、ボランティアの方は大変なご苦労をされたかと思います。

今回もまた現役会員、お手伝い頂いたOBの方々、また車両を貸して頂いたOB・現役会員の方、長い間支えてくださりまして、ありがとうございました！みなさんのお力がなければ、部長職は全うできなかつたと感謝しています。

来年は30回記念大会となります。今年同様ご協力をお願いいたします。

AS部長  
後藤公平

「嵐の前の静けさ」とはよく言ったもので、朝の天候からはあのような終わり方を想像することすらできませんでした。

激しい雨に打たれながらも各人に最後まで一生懸命作業にあたってもらったお陰で事故なくASを返上することができました。AS責任者として感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

なお、末筆になりますが、当日参加いただきました会員ご家族、OB会員諸氏、大山電機中国人研修生の皆さん、ブリジストンの皆さん、マーズの皆さん、ASに係わって下さった全ての方々に感謝申し上げます。

(総務)		<b>織戸 健司</b>	B型
	株式会社 エル・エヌ 通信機器、携帯電話販売 〒683-0804 米子市米原6-7-8 TEL 37-2301 FAX 37-2302 (KT) 090-5708-6804 (EM) orito@nlm.co.jp		マネージャー
S 57.7.7 生			

〈コメント〉

27歳とまだ先輩方よりも若いですが、全ての行事にハツラツと参加し、「常に挑戦、常にチャレンジ」の精神で取り組んでいこうと思えます。これから卒会までの19年間で大きく人として成長していけるようにします。宜しくお願い致します！

(広報)		<b>高光 英彦</b>	O型 代表
	幸電工 電気工事業 〒683-0841 米子市上後藤1-8-7 TEL 57-3533 FAX 57-3533 (KT) 090-7126-0878 (EM) hi-sa0822@sea.chukai.ne.jp		土岐(哲)
S 45.4.24 生			

〈コメント〉

平成21年度入会入会しました。高光と申します。どうぞよろしくお願い致します。

新入会員

(総務)		<b>本田 繁</b>	A型 係長
	株式会社 サンルート米子 ホテル 〒683-0805 米子市西福原1-1-55 TEL 33-0911 FAX 32-5847 (KT) 090-1018-3410 (EM) shigeruh@sunroute-yonago.co.jp		松田(幸)
S 48.10.15 生			

〈コメント〉

平成21年度鳥取県西部中小企業青年中央会に入会致しました本田繁と申します。

往來の委員会活動もとより他事業へ積極的に参加し、資質向上と中央会の発展に役立ちたいと思えます。これからどうぞご指導の程宜しくお願い申し上げます。

8月役員会報告

8月定例役員会が平成21年8月3日(月)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・7月通常総会・卒会式・懇親会報告の件
- ・8月例会の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

8月例会案内

と き：平成21年8月17日(月) 18:50~21:30  
 場 所：ホテルサンルート米子  
 講 演：委員会事業計画の発表  
 担 当：委員長・副委員長

平素は、雄飛・ハンサムをご愛読頂き、ありがとうございます。35期広報委員会では、鮮度が高く、内容の濃い情報をお届け致します。どうぞよろしくお願い致します。

(35期広報委員会 委員長 小川敦弘)